

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4583574号
(P4583574)

(45) 発行日 平成22年11月17日 (2010.11.17)

(24) 登録日 平成22年9月10日 (2010.9.10)

(51) Int.Cl.		F I			
H04Q	9/00	(2006.01)	H04Q	9/00	301E
H04N	5/00	(2006.01)	H04Q	9/00	331A
H04N	5/44	(2006.01)	H04N	5/00	A
			H04N	5/44	Z

請求項の数 2 (全 24 頁)

(21) 出願番号	特願2000-309170 (P2000-309170)	(73) 特許権者	000005821
(22) 出願日	平成12年10月10日 (2000.10.10)		パナソニック株式会社
(65) 公開番号	特開2002-118884 (P2002-118884A)		大阪府門真市大字門真1006番地
(43) 公開日	平成14年4月19日 (2002.4.19)	(74) 代理人	100090446
審査請求日	平成19年8月13日 (2007.8.13)		弁理士 中島 司朗
		(74) 代理人	100109210
			弁理士 新居 広守
		(72) 発明者	井藤 好克
			大阪府門真市大字門真1006番地 松下
			電器産業株式会社内
		(72) 発明者	川越 睦
			大阪府門真市大字門真1006番地 松下
			電器産業株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 リモートコントローラおよび遠隔制御方法並びに視聴集計システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報制御装置であって、

所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者IDと、
前記所定のコンテンツを識別する識別情報と、前記所定のコンテンツの視聴を集計する
集計装置のアドレスと、を外部の通信装置から受信する受信部と、

前記識別情報に対応する所定のコンテンツを取得する取得部と、

外部の表示装置に前記取得した所定のコンテンツを出力するインターフェース部と、

前記外部の表示装置に前記取得した所定のコンテンツを出力した場合、前記取得した所
定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者IDを、前
記集計装置のアドレスに基づいて、前記集計装置に送信する制御を行う制御部と、を具備
し、

前記外部の通信装置は、前記情報制御装置のリモートコントローラである

ことを特徴とする情報制御装置。

【請求項 2】

情報制御装置であって、

所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者IDと
、前記所定のコンテンツを識別する識別情報と、前記所定のコンテンツの視聴を集計する
集計装置のアドレスと、を外部の通信装置から受信する受信部と、

前記識別情報に対応する所定のコンテンツを取得する取得部と、

外部の表示装置に前記取得した所定のコンテンツを出力するインターフェース部と、
前記外部の表示装置に前記取得した所定のコンテンツを出力した場合、前記取得した所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者IDを、前記集計装置のアドレスに基づいて、前記集計装置に送信する制御を行う制御部と、を具備し、

前記外部の通信装置は、前記情報制御装置のリモートコントローラの機能を有する携帯電話である

ことを特徴とする情報制御装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

10

【発明の属する技術分野】

本発明は、放送やインターネットを介して取得する情報コンテンツをディスプレイに表示させる情報制御装置およびこの情報制御装置から情報を取得する集計装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

最近、インターネットの発達や衛星放送の普及により、膨大な種類の情報コンテンツが提供されるようになりつつある。これらの情報コンテンツはパソコン等を用いて視聴される場合もあるが、テレビジョン用ディスプレイに表示して視聴される場合も多い。

【0003】

テレビジョン用ディスプレイで視聴される場合、通常セットトップボックス（STB）と呼ばれる情報制御装置にディスプレイが接続され、ディスプレイに情報コンテンツが表示される。STBの操作はリモートコントローラにより離れた場所から遠隔操作することがほとんどである。

20

従来、テレビ放送はチャンネル数も少なく、情報コンテンツの選択も限られたチャンネルを入力するだけであるため、リモートコントローラでチャンネルを入力し操作することも容易であった。

【0004】

しかし、最近のように提供される情報コンテンツの種類が増えてくると、どの番組がどのチャンネルで提供されているかを把握することが視聴者にとって困難になり、またインターネットで提供される情報コンテンツはコンピュータネットワークアドレス（例えばURL）のような長い文字列を入力して取得する必要がある。

30

【0005】

パソコンで視聴する場合は、キーボードなどを用いてコンピュータネットワークアドレスの文字列を入力することは比較的容易であり、好みの情報コンテンツのコンピュータネットワークアドレスをブックマークとして蓄積しておくことや、またパソコンのディスプレイに電子番組表（EPG）を表示して所望の番組を選択して視聴することが可能である。

【0006】

テレビジョン用ディスプレイで視聴する場合にも、ディスプレイに電子番組表を表示して番組を選択することも可能である。コンピュータネットワークアドレスを専用キーボードにより入力したり、リモートコントローラと一体化したスキャナで読取ったコンピュータネットワークアドレスを送信する技術が特開平9-152924号公報に開示されている。

40

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、テレビジョン用ディスプレイに電子番組表を表示すると、ディスプレイの表示解像度によっては表示内容が少し離れた場所からでは、確認しづらいので、パソコンやテレビジョン用ディスプレイの直ぐ前にいないと、視聴したい情報コンテンツを探す作業ができない。

【0008】

また、コンピュータネットワークアドレスなどの文字列だけでは、どのような情報コン

50

テンツを指すものなのかは、分かりにくい。さらに、電子番組表を表示しているときには、情報コンテンツの表示が妨げられる。本発明は、係る課題に鑑み、操作性の向上したりリモートコントローラなどの通信装置により操作される情報制御装置およびこれから情報を取得する集計装置を提供することを目的とする。

【0009】

更に、情報コンテンツに利用期限がある場合、ブックマークに利用期限の過ぎた情報コンテンツのコンピュータネットワークアドレスや番組情報が登録されていると、期限切れとは知らずに不要なアクセスをしてしまう虞れがある。

また、気に入った情報コンテンツを人に伝える際に、チャンネルや放送時間やコンピュータネットワークアドレスなどの情報を簡単に伝えるのが難しい。

10

【0010】

また、ユーザ認証を必要とする情報コンテンツにアクセスする毎に、認証情報を入力するのは煩雑である。また、コンテンツ製作者から発信される宣伝や電子番組表の情報だけでは、優れた情報コンテンツを知る機会が少ない。本発明の他の目的は、更にこれらの課題を解決した使い勝手のよいリモートコントローラなどの通信装置により操作される情報制御装置およびこれから情報を取得する集計装置を提供することである。

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記課題を解決するため、所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者IDと、前記所定のコンテンツを識別する識別情報と、前記所定のコンテンツの視聴を集計する集計装置のアドレスと、を外部の通信装置から受信する受信部と、前記識別情報に対応する所定のコンテンツを取得する取得部と、外部の表示装置に前記取得した所定のコンテンツを出力するインターフェース部と、前記外部の表示装置に前記取得した所定のコンテンツを出力した場合、前記取得した所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者IDを、前記集計装置のアドレスに基づいて、前記集計装置に送信する制御を行う制御部と、を備えたものである。

20

【0012】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係るリモートコントローラの実施の形態を図面を用いて説明する。

（実施の形態1）

30

図1は、本発明に係るリモートコントローラの実施の形態1の構成図である。このリモートコントローラ101は、メモ리카ード102と、メモ리카ードI/F103と、LCD（Liquid Crystal Display：液晶表示装置）104と、表示I/F105と、キー操作部06と、キー入力I/F107と、送信部108と、リモコン用エンコーダ109と、受信部110と、リモコン用デコーダ111と、時計112と、CPU113とを備え、メモ리카ードI/F103、表示I/F105、キー入力I/F107、リモコン用エンコーダ109、リモコン用デコーダ111、時計112及びCPU113はバス114で接続されている。

【0013】

このリモートコントローラ101の外観図を図2に示す。リモートコントローラ101は、筐体201の表面前方にLCD104が設けられ、後方にキー操作部106を構成する送信キー202、受信キー203、マーク設定キー204、マーク解除キー205、前キー206、次キー207、前マークキー208、次マークキー209、決定キー210及びユーザ登録キー211とが配置されている。筐体201の後方面には、メモ리카ード102を着脱するためのメモ리카ードスロット212が設けられている。筐体201の前方面には、無線信号を発信する送信部108と、無線信号を受信する受信部110とが設けられている。筐体201の側面には電源ボタン213が設けられている。

40

【0014】

メモ리카ード102は、フラッシュメモリからなり、図3(a)に示すようなファイルシステムを構成している。ROOT301直下のBANNERディレクトリ302には、複

50

数のファイルが記憶されている。ここでは、B N E R 0 0 0 1 . B A N、 B N E R 0 0 0 2 . B A N、・・・、B N E R 0 0 0 5 . B A Nの5つのファイルが記憶されているものとする。

【 0 0 1 5 】

なお、ここではB A N N E Rディレクトリ直下に全てのバナーファイルを格納しているが、B A N N E Rディレクトリ以下にサブディレクトリを設け、バナーファイルを分類して格納することもできる。これらの各ファイルには、情報コンテンツの取得のためのソース情報と情報コンテンツを紹介するためのタイトル情報とが記載されている。このようなファイルをバナーファイルと呼ぶ。

【 0 0 1 6 】

図3 (b) は、このバナーファイルのデータフォーマットの一例を示す図である。B N E R 0 0 0 1 . B A Nのバナーファイル3 0 3には、ヘッダ情報3 0 4とソース情報3 0 5とタイトル情報3 0 6とが記載されている。

ヘッダ情報3 0 4には、ヘッダタグ3 0 7と、登録日時3 0 8と、消去日時3 0 9と、マーク設定日時3 1 0と、ソース情報オフセット3 1 1と、ユーザ情報オフセット3 1 2と、タイトル情報オフセット3 1 3と、ファイルサイズ3 1 4とが記載されている。このソース情報オフセット3 1 1からソース情報3 0 5がこのバナーファイル3 0 3のアドレス0 x 2 0から記載されており、タイトル情報オフセット3 1 3からタイトル情報3 0 6がこのバナーファイル3 0 3のアドレス0 x 4 4から記載されていることがわかる。

【 0 0 1 7 】

ソース情報3 0 5は、このバナーファイルB N E R 0 0 0 1 . B A Nが示す情報コンテンツの取得源を示している。ソース情報3 0 5には、U R L タグ3 1 5と、U R L サイズ3 1 6と、具体的なU R L 3 1 7とが記載されている。

タイトル情報3 0 6は、このバナーファイルB N E R 0 0 0 1 . B A Nが示す情報コンテンツの内容を示唆するものである。タイトル情報3 0 6には、画像タグ3 1 8と、画像サイズ3 1 9と、ビットマップ情報3 2 0とが記載されている。

【 0 0 1 8 】

このビットマップ情報3 2 0の画像3 2 1は、図3 (c) に示されている。

メモリカードI / F 1 0 3は、メモリカード1 0 2の入出力をC P U 1 1 3との間で行う。

L C D 1 0 4は、図2に示すように、表示I / F 1 0 5を介して、C P U 1 1 3の制御により、タイトル情報に含まれるビットマップ情報の画像3 2 1を表示する。

【 0 0 1 9 】

表示I / F 1 0 5は、L C D 1 0 4にC P U 1 1 3から通知されたビットマップ情報を表示する。

キー操作部1 0 6は、後述する情報制御装置によって表示される情報コンテンツを決定するために、視聴者によるキー2 0 2 ~ 2 1 1の押下を受け、キー入力I / F 1 0 7を介してC P U 1 1 3に押下されたキーの入力信号を通知する。

【 0 0 2 0 】

キー入力I / F 1 0 7は、キー操作部1 0 6で押下されたキーの入力信号をC P U 1 1 3に通知する。

送信部1 0 8は、リモコン用エンコーダ1 0 9で符号化された信号を情報制御装置に無線送信する。

リモコン用エンコーダ1 0 9は、C P U 1 1 3から通知されたソース情報を符号化信号に変換し、送信部1 0 8に通知する。

【 0 0 2 1 】

受信部1 1 0は、外部から符号化信号を受信し、リモコン用デコーダ1 1 1に通知する。

リモコン用デコーダ1 1 1は、受信部1 1 0から通知された符号化信号を複号し、C P U 1 1 3に通知する。

時計1 1 2は、現在時刻を計時し、C P U 1 1 3に通知する。

10

20

30

40

50

【 0 0 2 2 】

C P U 1 1 3 は、電源ボタン 2 1 3 が O N されると、メモ리카ード I / F 1 0 3 を介して、メモ리카ード 1 0 2 が装着されているか否かを判定する。装着されているときには、B A N N E R ディレクトリ 3 0 2 の先頭バナーファイルのタイトル情報にデフォルトでアクセスする。ここで、先頭のバナーファイルとは、ファイル名「B N E R X X X X . B A N」中の数字「X X X X」の 1 番小さいものをいう。図 3 (a) に示した B A N N E R ディレクトリ 3 0 2 では、バナーファイル「B N E R 0 0 0 1 . B A N」が先頭のバナーファイルとなる。

【 0 0 2 3 】

なお、電源を入れたときに最初にアクセスするバナーファイルは、先頭のバナーファイルではなく、バナーファイルに記録された開始日時が時計 1 1 2 で計時した現在時刻と最も近いものにすることもできる。

C P U 1 1 3 は、アクセスしたバナーファイルのタイトル情報 3 0 6 のビットマップ情報 3 2 0 をメモ리카ード I / F 1 0 3 を介して読み出し、表示 I / F 1 0 5 に通知する。

【 0 0 2 4 】

次に、C P U 1 1 3 は、キー入力 I / F 1 0 7 から通知される信号が「前」キー 2 0 6、「次」キー 2 0 7 又は「決定」キー 2 1 0 のいずれの信号であることを判定する。

「前」信号であれば、現在表示中のビットマップ情報の前のバナーファイルのタイトル情報にアクセスし、当該タイトル情報のビットマップ情報を読み出し、表示 I / F 1 0 5 に通知する。なお、バナーファイル「B N E R 0 0 0 1 . B A N」では、前のバナーファイルがないので、後尾のバナーファイル「B N E R 0 0 0 5 . B A N」を前のバナーファイルとする。

【 0 0 2 5 】

C P U 1 1 3 は、「次」信号を通知されると、現在表示中のバナーファイルと「B N E R 0 0 0 1 . B A N」の次のバナーファイル「B N E R 0 0 0 2 . B A N」のタイトル情報にアクセスし、当該タイトル情報のビットマップ情報を読み出し、表示 I / F 1 0 5 に通知する。なお、バナーファイル「B N E R 0 0 0 5 . B A N」のビットマップ情報を表示しているときに「次」信号を通知されると、先頭に帰り、バナーファイル「B N E R 0 0 0 1 . B A N」のタイトル情報にアクセスする。

【 0 0 2 6 】

C P U 1 1 3 は、「決定」信号の通知をされると、現在 L C D 1 0 4 に表示されているビットマップ情報を含むバナーファイルのソース情報をメモ리카ード I / F を介して読み出し、リモコン用エンコーダ 1 0 9 に通知する。

例えば、図 3 に示したバナーファイル「B N E R 0 0 0 1 . B A N」のタイトル情報 3 0 6 のビットマップ情報 3 2 0 が L C D 1 0 4 に表示されているときには、ソース情報 3 1 7 の“ h t t p : / / w w w . m a r u b a t s u . c o . j p ” がリモコン用エンコーダ 1 0 9 に通知される。

【 0 0 2 7 】

また、C P U 1 1 3 は、所定の時間間隔、例えば、1 0 秒間隔で時計 1 1 2 から現在時刻の通知を受けると、メモ리카ード I / F 1 0 3 を介してメモ리카ード 1 0 2 が装着されているか否かを判定し、メモ리카ードが装着されているときは、先頭のバナーファイルにアクセスする。バナーファイルのヘッダ情報 3 0 4 のうち、消去日時 3 0 9 を読み出し、通知された現在時刻が消去日時 3 0 9 の時刻を経過しているか否かを判定する。経過していると判断したときは、当該バナーファイルをメモ리카ード I / F 1 0 3 を介して消去する。経過していないと判断したときは、B A N N E R ディレクトリ 3 0 2 に記憶されているバナーファイルについて順次同様の処理を行う。

【 0 0 2 8 】

これによって、消去日時として予め設定された日時以降には、当該バナーファイルのタイトル情報が L C D 1 0 4 に表示されることはない。

次に、本実施の形態の動作を図 4、図 5 に示すフローチャートを用いて説明する。

10

20

30

40

50

図4は、情報制御装置へのソース情報の送信処理を説明するフローチャートである。

【0029】

CPU113は、電源ボタン213がONされるのを待って(S402)、メモリカードI/F103を介してメモリカード102がメモリカードスロット212に装着されているか否かを判定する(S404)。装着されているときは、メモリカードI/F103を介して先頭のパナーファイルのタイトル情報306にアクセスする(S406)。タイトル情報306のビットマップ情報320を読み出し、表示I/F105に通知する(S408)。表示I/F105は、LCD104に通知されたビットマップ情報320を表示する(S410)。

【0030】

CPU113は、キー入力I/F107から通知される信号が「決定」信号か否かを判定し(S412)、否のときは、「前」信号か否かを判定する(S414)。「前」信号のときは、前のパナーファイルのタイトル情報306にアクセスし(S416)、S408に戻る。否のときは、「次」信号か否かを判定し(S418)。「次」信号のときは、次のパナーファイルのタイトル情報にアクセスし(S420)、S408に戻る。否のときは、S412に戻る。

【0031】

S412において、「決定」信号のときは、当該パナ - ファイルのソース情報305を読み出し、リモコン用エンコーダ109に通知する(S422)。リモコン用エンコーダ109は通知されたソース情報305を無線通信に適した形式に変換し、送信部108から情報制御装置に無線信号を発信し(S424)、処理を終了する。

【0032】

図5は、メモリカード102に記憶されている不要となったパナーファイルの削除処理を説明するフローチャートである。

先ずCPU113は、時計112から現在時刻を取得する(S502)。CPU504は、メモリカードスロット212にメモリカード102が装置されているか否かを判定し(S504)、装着されていれば、先頭パナーファイルにアクセスする(S506)。当該パナーファイルのヘッダ情報304の消去日時309を読み出し、現在時刻が消去時刻を経過しているか否かを判定する(S508)。経過しているときには、メモリカード102のBANNERディレクトリ302から当該パナーファイルを消去する(S510)。

【0033】

次に、CPU113は、次のパナーファイルが記憶されているか否かを判定し(S512)、記憶されていなければ処理を終了し、記憶されていれば、当該パナ - ファイルにアクセスし(S514)、S508に戻る。

なお、本実施の形態において、タイトル情報306は、静止画のビットマップ情報により構成されたとしたけれども、動画でもよいし、動画と音声の複合情報であってもよい。音声を含む場合には、その音声を出力するスピーカと音声I/Fを備えることとしなければならない。

【0034】

次に、このリモートコントローラ101を用いた情報制御装置の操作を説明する。

図6は、リモートコントローラ101で情報制御装置を操作する状態を模式的に示した図である。

情報制御装置601は、STBを構成し、大容量記録装置602への情報コンテンツの記録と読み出しとを行ない、アンテナ603で放送電波を受信し、通信回線604を介して通信を行い、ディスプレイ605に情報コンテンツ等を表示する。これらの制御をリモートコントローラ101からの赤外線や電波等よりなる無線信号を受信して操作する。

【0035】

図7は、この情報制御装置601の構成図である。

情報制御装置601は、リモートコントローラ101からの無線信号を受信する受信部701と、受信部で受信された無線信号をデコードするデコーダ702と、アンテナ603

10

20

30

40

50

で受信した放送電波を取得するチューナ703と、通信回線604を介して通信を行うモデム704と、現在時刻を計時する時計705と、大容量記録装置602との入出力を行う記録装置I/F706と、外部のディスプレイ605に情報コンテンツを表示する表示I/F707と、CPU708とを備えている。

【0036】

大容量記憶装置602は、ハードディスクやDVD-RAM等からなり、図8(a)に示すようなファイル構造を有している。ROOT801直下のINETディレクトリ802以下には、通信回線604を介して取得した情報コンテンツをディレクトリ単位で#1、#2、...のように格納している。INET.IDX803には、図8(b)に示すように、情報コンテンツ#1、#2、...の格納順にURLタグ804、URLサイズ805、URL806とによって情報コンテンツのソース情報が記載されている。

10

【0037】

ROOT801直下のBROADディレクトリ807には、チューナ703で取得した情報コンテンツをディレクトリ単位で#1、#2、...のように格納している。BROAD.IDX808は、図8(c)に示すように各情報コンテンツ#1、#2、...の格納順に情報コンテンツのソース情報を記載している。BROAD.IDX808には、番組タグ809と番組情報サイズ810と、番組ID811と、チャンネル情報810と、開始日時813と、終了日時814と、オプションフラグ815がソース情報として記載されている。

【0038】

20

今、図6に示したように、リモートコントローラ101の送信部108からソース情報“http://www.marubatsu.co.jp”の無線信号を情報制御装置601の受信部701が受信すると、デコーダ702でソース情報にデコードされ、CPU708に通知される。

CPU708は、通知されたソース情報がURLを含むか番組IDを含むかを判定する。この場合、ソース情報がURL“http://www.marubatsu.co.jp”であるので、記録装置I/F706を介して大容量記録装置602のINETディレクトリ802のINET.IDX803を検索し、同一のURLが記録されているか否かを判定する。同一のURLを検索できれば、大容量記録装置602のINETディレクトリ802から当該情報コンテンツを読み出し、表示I/F707を介してディスプレイ605に表示させる。図8(b)に示すようにINET.IDX803の#1、#2、...で同一のURLを見つけることができれば、モデム704を介して、通信回線604よりURL“http://www.marubatsu.co.jp”の情報コンテンツを取得して、同様にディスプレイ605に表示させる。

30

【0039】

CPU708は、通知されたソース情報に番組IDを含むときには、時計705から現在時刻の通知を受け、当該ソース情報に含まれる開始日時が現在時刻より後であるか否かを判定する。肯定のときには、大容量記録装置602への記録予約を設定する。否と判定した時には、現在時刻が当該ソース情報に含まれる終了日時を経過しているか否かを判定し、経過しているときには、大容量記録装置602のBROADディレクトリ807のBROAD.IDXを検索し、通知された番組IDと同一のものが記録されているか否かを判定し、記録されているときには、当該番組IDの情報コンテンツを大容量記録装置602から読み出し、表示I/F707を介してディスプレイ605に表示させる。現在時刻が当該ソース情報に含まれる終了日時を経過していないと判定したときにはチューナ703に当該番組IDの情報コンテンツを取得するようセットする。

40

【0040】

チューナ703は、取得した情報コンテンツを表示I/F707に通知し、表示I/F707は、ディスプレイ605に情報コンテンツを表示する。

次に、この情報制御装置601の動作を図9に示すフローチャートを用いて説明する。

まず、CPU708は、リモートコントローラ101から送信されたソース情報をデコー

50

ダ702から通知されると(S901)、ソース情報がURLか否かを判定し(S902)、URLのときには、大容量記録装置602に記録されているINET.IDX803を検索し(S903)、同一のURLが記録されているか否かを判定する(S904)。記録されていなければ、モデム704と回線604とを接続し、当該URLにアクセスし、情報コンテンツを取得する(S905)。記録されているときには、大容量記録装置602から対応する情報コンテンツを取得する(S906)。取得された情報コンテンツをディスプレイ605に出力して(S907)、処理を終了する。

【0041】

CPU708は、ソース情報がURLでなく、番組IDであるときには、時計705から現在時刻を取得し(S908)、現在時刻がソース情報の開始日時前であるか否かを判定し(S909)、前であれば、当該番組IDで識別される番組の大容量記録装置602への記録予約をセットして(S910)、処理を終了する。開始日時以後であれば、現在時刻がソース情報の終了日時を過ぎているか否かを判定し(S911)、過ぎていれば、大容量記録装置602のBROAD.IDX808を検索し(S912)、同一の番組ID811が記録されているか否かを判定する(S913)。記録されていなければ、処理を終了し、記録されていれば、大容量記録装置602から対応する情報コンテンツを取得し(S914)、S917に移る。

【0042】

CPU708は、S911で現在時刻が終了日時を経過していないと判定したときは、チューナ703を当該番組IDで識別される番組のチャンネル情報812に従いセットし、情報コンテンツを取得して(S915)、S907に移る。

(実施の形態2)

次に、本発明に係るリモートコントローラの実施の形態2について説明する。

【0043】

図10は、リモートコントローラ同士で、第1のリモートコントローラのメモリカードに記憶されているバナーファイルの内容を第2のリモートコントローラに送信し、第2のリモートコントローラのメモリカードに記録する様子を説明するための図である。

ここで、第1のリモートコントローラ101と第2のリモートコントローラ1001との構成は、ともに図1に示した構成と同様である。ただし、第2のリモートコントローラ1001のメモリカード102に第1のリモートコントローラ101のそれと異なり図11(a)に示すように、BANNERディレクトリ1101にバナーファイル「BANNER001.BAN」1102が一つ記憶されているものとする。

【0044】

第1のリモートコントローラ101では、第2のリモートコントローラ1001へバナーファイルの送信を行うために、送信モードが設定される。キー操作部106の「送信」ボタン202が視聴者により押下されると、キー入力I/F107は、「送信」信号をCPU113に通知する。

CPU113は、「送信」信号の通知を受けると、現在LCD104に表示されているタイトル情報306を含むバナーファイルメモリカード102からメモリカードI/F103を介して読み出し、リモコン用エンコーダ109に通知する。

【0045】

リモコン用エンコーダ109は、通知されたバナーファイルの内容を符号化信号に変換し、送信部108に通知する。

送信部108は、リモコン用エンコーダ109で符号化された信号を第2のリモートコントローラ1001に無線送信する。

なお、CPU113は、バナーファイルに後述するユーザ情報が含まれる場合には、ユーザ情報を除いてバナーファイルを読み出す。

【0046】

第2のリモートコントローラ1001では、第1のリモートコントローラ101から送信されるバナーファイルを受信するために、受信モードの設定を行う。キー操作部106の

10

20

30

40

50

「受信」ボタン203が視聴者より押下されると、キー入力I/F107は、「受信」信号をCPU113に通知する。

受信部110は、第1のリモートコントローラ101から送信される信号を受信すると、リモコン用デコーダ111に通知する。

【0047】

リモコン用エンコーダ111は、通知された信号をデコードしてCPU113に通知する。

CPU113は、「受信」信号の通知を受けると、表示I/F105を介してLCD104に「受信中」と図10に示すように表示させる。

また、CPU113は、リモコン用デコーダ111からデコードされたバナーファイルの通知を受けると、メモ리카ードI/F103を介してメモ리카ード102のBANNERディレクトリ1101の先頭のバナーファイル「BNER0001.BAN」1102にアクセスし、当該バナーファイル1102を読み出し、通知されたバナーファイルの内容と同一か否かを判定する。同一でなければ、次のバナーファイルにアクセスし、当該バナーファイルを読み出し、通知されたバナーファイルの内容と同一か否かを判定する。リモートコントローラ1001のメモ리카ード102に記憶されている全てのバナーファイルの内容と同一でなければ、通知されたバナーファイルの内容をヘッダ情報304を更新して記録する。既にメモ리카ード102に記憶されているバナーファイルの内容と通知されたバナーファイルとの内容とが同一である場合には、重複して記録する必要はないので、通知されたバナーファイルを棄却する。

【0048】

メモ리카ード102に通知されたバナーファイルを記録する際、バナーファイルのヘッダ情報304の登録日時308を時計112から現在時刻を取得して更新する。また、図11(b)に示すように、バナーファイルの名称は、既に記録されているバナーファイル1102のファイル名の数字に「1」を加えた「BNER0002.BAN」1103とする。

【0049】

次に、本実施の形態の動作をバナーファイルの送信側の第1のリモートコントローラ101と受信側の第2のリモートコントローラ1001とに分けて説明する。

第1のリモートコントローラ101での動作は、上記実施の形態1で説明した図4のフローチャートのS412とS422とS424との動作が異なるだけであるので、各ステップを次のように読み替える。

【0050】

S412において、CPU113は、「送信」信号か否かを判定する。肯定のときは、S422において、当該バナーファイルを読み出し、S424において、送信部108は、リモコン用エンコーダ109で符号化されたバナーファイルを送信する。

第2のリモートコントローラ1001の動作を図12のフローチャートを用いて説明する。

【0051】

CPU113は、キー入力I/F107から「受信」信号の通知をされるのを待ち(S1202)、表示I/F105を介してLCD104に「受信中」と表示させる。

次に、受信部110は、第1のリモートコントローラ101からバナーファイルを受信する(S1206)。

【0052】

CPU113は、そのバナーファイルの通知を受けると、メモ리카ード102のBANNERディレクトリ1101にバナーファイルが記憶されているか否かを判定する(S1208)。バナーファイルが記憶されていないときには、受信したバナーファイルのヘッダ情報304の登録日時308を現在時刻に更新して(S1210)、BANNERディレクトリ1101に新規バナーファイルとして追加記録し(S1212)、処理を終了する。

10

20

30

40

50

【 0 0 5 3 】

C P U 1 1 3 は、S 1 2 0 8 において、バナーファイルが記憶されているときには、B A N N E R ディレクトリの先頭バナーファイルにアクセスする (S 1 2 1 4)。先頭バナーファイルと受信したバナーファイルとの内容と比較する (S 1 2 1 6)。同一バナーファイルか否かを判定し (S 1 2 1 8)、同一であれば処理を終了し、同一でなければ、B A N N E R ディレクトリ 1 1 0 1 に次のバナーファイルが記憶されているか否かを判定する (S 1 2 2 0)。記憶されていなければ S 1 2 1 0 に移り、記憶されているときには、次のバナーファイルにアクセスし (S 1 2 2 2)、S 1 2 1 6 に戻る。

【 0 0 5 4 】

(実施の形態 3)

次に、本発明に係るリモートコントローラの実施の形態 3 について説明する。

本実施の形態では、視聴者がメモ리카ード 1 0 2 に記憶されているバナーファイル 3 0 3 等に予めマークを設定しておき、情報コンテンツの選択時にマークの付されたタイトル情報だけを表示するようにするものである。

【 0 0 5 5 】

本実施の形態の構成は、上記実施の形態 1 の構成と同様であるので、図 1 を参照して説明する。

視聴者は、メモ리카ード 1 0 2 の B A N N E R ディレクトリ 3 0 2 に記憶されているバナーファイルのタイトル情報 3 0 6 を L C D 1 0 4 に表示させ、気に入ったタイトル情報 3 0 6 が表示されたとき、キー操作部 1 0 6 の「マーク設定」ボタン 2 0 4 を押下する。

【 0 0 5 6 】

また、マーク設定がされたバナーファイルのマーク設定を解除しようとするとき、L C D 1 0 4 にタイトル情報 3 0 6 を表示させ、キー操作部 1 0 6 の「マーク解除」ボタン 2 0 5 を押下する。

キー入力 I / F 1 0 7 は、「マーク設定」ボタン 2 0 4 の押下を受け、「マーク設定」信号を C P U 1 1 3 に通知する。また、「マーク解除」ボタン 2 0 5 の押下を受け「マーク解除」信号を C P U 1 1 3 に通知する。

【 0 0 5 7 】

また、キー入力 I / F 1 0 7 は、キー操作部 1 0 6 の「前マーク」ボタンが押下されると、「前マーク」信号を、「次マーク」ボタンが押下されると「次マーク」信号をそれぞれ C P U 1 1 3 に通知する。

C P U 1 1 3 は「マーク設定」信号を通知されると、時計 1 1 2 から現在時刻を取得する。C P U 1 1 3 は、L C D 1 0 4 に現在表示中のタイトル情報に対応するバナーファイルのヘッダ情報 3 0 4 中のマーク設定日時に取得した現在時刻を書き込む。

【 0 0 5 8 】

例えば、図 2 に示したように、L C D 1 0 4 にバナーファイル「B N E R 0 0 0 1 . B A N」3 0 3 のタイトル情報 3 0 6 のビットマップ情報 3 2 0 の画像 3 2 1 が表示されているとき、「マーク設定」信号が通知されると、図 3 (b) に示したバナーファイル 3 0 3 のマーク設定日時 3 1 0 に、現在時刻が書き込まれ、図 1 3 に示すようになる。バナーファイル「B N E R 0 0 0 1 . B A N」1 3 0 1 のマーク設定日時 1 3 0 2 に「2 0 0 0 / 1 / 1 . 1 8 : 0 0」が書き込まれている。

【 0 0 5 9 】

C P U 1 1 3 は、マーク設定された、即ちマーク設定日時 1 3 0 2 に設定日時が書き込まれたバナーファイル 1 3 0 1 のタイトル情報 1 3 0 3 を L C D 1 0 4 に表示させるとき、図 1 4 に示すように、タイトル情報の画像 1 4 0 1 にマーク 1 4 0 2 を付加して表示させる。

C P U 1 1 3 は、マーク設定されたバナーファイル 1 3 0 1 のタイトル情報 1 3 0 3 の画像 1 4 0 1 が L C D 1 0 4 に表示されているとき、「マーク解除」信号の通知を受けると、マーク設定日時 1 3 0 2 に書き込まれている設定日時をリセット、即ちフルビット ON にする。バナーファイル 1 3 0 1 は、図 3 (b) に示したマーク設定日時 3 1 0 がリセッ

10

20

30

40

50

トされたバナーファイル 3 0 3 になる。

【 0 0 6 0 】

C P U 1 1 3 は、「電源」ボタン 2 1 3 が O N されると、L C D 1 0 4 に先頭のバナーファイルのタイトル情報をデフォルトで表示させた後、「前マーク」信号の通知を受けると、表示中のバナーファイルの前のバナーファイルにアクセスし、ヘッダ情報 3 0 4 のマーク設定日時 1 3 0 2 に設定日時が書き込まれているか否かを判定し、書き込まれていなければ、更に前のバナーファイルにアクセスし、マーク設定日時 1 3 0 2 に設定日時が書き込まれているか否かを判定する。マーク設定日時 1 3 0 2 が書き込まれているバナーファイルに到達すると、当該バナーファイルのタイトル情報 1 3 0 3 のビットマップ情報を読み出し、表示 I / 1 0 5 を介して L C D 1 0 4 にビットマップ情報の画像にマーク 1 4 0 2 を付加して表示させる。

10

【 0 0 6 1 】

C P U 1 1 3 は、同様に「次マーク」信号の通知を受けると、マーク設定日時 1 3 0 2 に設定日時が書き込まれた次のバナーファイルを見つけ、当該バナーファイルのタイトル情報 1 3 0 3 の画像にマーク 1 4 0 2 を付加して表示させる。次に、本実施の形態の動作を図 1 5、図 1 6 のフローチャートを用いて説明する。

【 0 0 6 2 】

図 1 5 は、所望のバナーファイルにマーク設定をする動作を示すフローチャートである、なお、実施の形態 1 の図 4 に示したフローチャートと同一のステップには、同一のステップ番号を付し、その説明を省略する。実施の形態 1 のステップ S 4 1 2、S 4 2 2、S 4 2 4 が異なるだけである。

20

S 1 5 0 2 において、C P U 1 1 3 は、「マーク設定」信号か否かを判定する。否であれば S 4 1 4 に移り、肯定であれば、現在時刻を時計 1 1 2 より取得し (S 1 5 0 4)、メモリカード I / F 1 0 3 を介して、当該バナーファイルのヘッダ情報のマーク設定日時 1 3 0 2 に取得した時刻を書き込む (S 1 5 0 6)。

【 0 0 6 3 】

また、一旦マーク設定したバナーファイルのマーク解除をする動作は、S 1 5 0 2 に替えて、「マーク解除」信号か否かを判定する。否であれば、S 4 1 4 に移り、肯定であれば、S 1 5 0 4、S 1 5 0 6 に替えて、メモリカード I / F を介して、当該バナーファイルのヘッダ情報のマーク設定日時 1 3 0 2 をフルビット O N にする。

30

【 0 0 6 4 】

次に、情報制御装置 6 0 1 へのソース情報の送信動作を図 1 6 のフローチャートを用いて説明する。なお、上記実施の形態 1 の図 4 のフローチャートのステップ S 4 1 4 ~ S 4 2 0 の動作が変更されるのが主に異なるだけであるので、本実施の形態の固有の動作についてだけ説明する。

S 4 1 2 において、C P U 1 1 3 は、「決定」信号でないと判定してときは、「前マーク」信号か否かを判定する (S 1 6 0 2)。「前マーク」信号であれば、前のバナーファイルにアクセスし (S 1 6 0 4)、当該バナーファイルのヘッダ情報のマーク設定日時 1 3 0 2 に設定日時が記載されているか否かを判定する (S 1 6 0 6)。記載されていなければ S 1 6 0 4 に戻り、記載されているときは S 4 0 8 に戻る。S 1 6 0 2 において「前マーク」信号でないと判定してときには、「次マーク」信号か否かを判定して (S 1 6 0 8)、否であれば S 4 1 2 に戻る。「次マーク」信号であれば、次のバナーファイルにアクセスし (S 1 6 1 0)、ヘッダ情報のマーク設定日時 1 3 0 2 に設定日時が記載されているか否かを判定する (S 1 6 1 2)。記載されていなければ S 1 6 1 0 に戻り、記載されていなければ S 4 0 8 に戻る。

40

【 0 0 6 5 】

なお、S 4 1 0 において、C P U 1 1 3 は、L C D 1 0 4 に当該ビットマップ情報の画像を表示させる際、マーク設定日時 1 3 0 2 に設定日時が記載されている場合には、マーク 1 4 0 2 を付加して表示させる。

このようにすることによって、メモリカード 1 0 2 に多数のバナーファイル 3 0 3 等が記

50

憶されている場合であっても、視聴者の「お気に入り」の情報コンテンツのバナーファイルに予めマークを付しておき、情報コンテンツの選択時にマークの付されたバナーファイルにだけアクセスして情報コンテンツを効率的に選択することができる。

【 0 0 6 6 】

なお、本実施の形態では、マークの設定されたバナーファイルから送信するソース情報を選択するようにしたけれども、リモートコントローラ 1 0 1 のキー操作部 1 0 6 に「一括送信」ボタンを設けておき、「一括送信」ボタンの押下に応じて、マーク設定された全てのバナーファイルのソース情報を一括して情報制御装置に送信するようにしてもよい。情報制御装置では、一括して受信したソース情報に従い、一つずつ情報コンテンツを表示処理するようすることも可能である。

10

【 0 0 6 7 】

(実施の形態 4)

図 1 7 は、本発明に係るリモートコントローラの実施の形態 4 におけるバナーファイルにユーザ情報を登録するため、リモートコントローラにキーボードを接続した状態を示している。

リモートコントローラ 1 0 1 の構成は、上記実施の形態 1 の図 1 に示したものと同様である。

【 0 0 6 8 】

本実施の形態は、情報コンテンツの取得のために、ユーザ ID やパスワードを必要とする場合に、情報制御装置 6 0 1 にユーザ ID やパスワードをユーザ情報としてソース情報とともに送信するようにしたものである。

20

キー操作部 1 0 6 の「ユーザ登録」ボタン 2 1 1 が視聴者に押下されると、キー入力 I / F 1 0 7 は、CPU 1 1 3 に「ユーザ情報登録」信号を通知する。

【 0 0 6 9 】

CPU 1 1 4 は、キーボード 1 7 0 1 がバス 1 1 4 に接続され、キー入力 I / F 1 0 7 から「ユーザ情報登録」信号を通知されると、キーボード 1 7 0 1 から入力されるユーザ ID とパスワードとを表示中のタイトル情報の属するバナーファイルに追加登録する。併せて、タイトル情報の表示に換えて、LCD 1 0 4 に入力されたユーザ ID とパスワードとを表示した画像 1 7 0 2 を表示させる。

【 0 0 7 0 】

30

図 1 8 は、メモリカード 1 0 2 のユーザ情報が登録されたバナーファイルの一例を示す図である。

バナーファイル 1 8 0 1 は、ユーザ情報 1 8 0 2 が新たに登録されている。ユーザ情報 1 8 0 2 は、ユーザ ID タグ 1 8 0 3 とユーザ ID のサイズ 1 8 0 4 とユーザ ID 1 8 0 5 とユーザパスワードタグ 1 0 8 6 とユーザパスワードサイズ 1 8 0 7 とユーザパスワード 1 8 0 9 とからなる。視聴者によってユーザ ID とユーザパスワードとがキーボード 1 7 0 1 から入力されると、CPU 1 1 3 によって各項目にデータ書き込まれ、ヘッダ情報 1 8 1 0 のユーザ情報オフセット 1 8 1 1 にも「B N E R 0 0 0 1 . B A N」バナーファイル 1 8 0 1 でのアドレスのオフセット値が書き込まれる。

【 0 0 7 1 】

40

このように予めバナーファイル 1 8 0 1 にユーザ情報 1 8 0 2 を登録しておき、ソース情報 1 8 1 2 の送信時にユーザ情報を同時に送信することによって、ユーザ認証を必要とする情報コンテンツにアクセスする毎にユーザ情報を入力する煩雑さが回避できる。

次に、本実施の形態のユーザ情報の登録の動作を図 1 9 のフローチャートを用いて説明する。なお、上記実施の形態 1 の図 4 に示した動作と同様のステップには、同一の符号を付して、その説明を省略する。

【 0 0 7 2 】

S 4 1 0 に続いて、CPU 1 1 3 は、キー入力 I / F 1 0 7 から通知された信号が「ユーザ情報登録」信号か否かを判定し (S 1 9 0 2) 、否であれば S 4 1 4 に移り、肯定であれば接続されたキーボード 1 7 0 1 からのユーザ ID とユーザパスワードとの入力を受け

50

付け（Ｓ１９０４）、アクセス中の当該バナーファイルにユーザＩＤとユーザパスワードを含むユーザ情報を登録し（Ｓ１９０６）、処理を終了する。

【００７３】

次に、情報制御装置６０１での動作を図２０のフローチャートを用いて説明する。

なお、本実施の形態のリモートコントローラ１０１では、ＣＰＵ１１３は、「決定」信号の通知を受けたとき、当該バナーファイルのソース情報とともにユーザ情報を読み出し、送信部１０８は、ソース情報とともにユーザ情報の信号を情報制御装置６０１に送信している。

【００７４】

実施の形態１で説明した図９のフローチャートと同様の動作については、同一のステップ番号を付してその説明を省略する。

Ｓ９０６、Ｓ９１４、Ｓ９１５の各ステップにおいて、ＣＰＵ７０８は、情報コンテンツを取得すると、その情報コンテンツがユーザ情報を要求するものであるか否かを判定する（Ｓ２００２）。要求するものであれば、ユーザ情報のユーザＩＤとパスワードとを情報コンテンツの有する認証条件と照合し（Ｓ２００４）、照合に成功すれば（Ｓ２００６）、情報コンテンツをディスプレイに出力し（Ｓ９０７）、処理を終了する。照合が失敗のときは、そのまま処理を終了する。またユーザ情報を要求しない場合には、コンテンツをディスプレイに出力して（Ｓ９０７）、処理を終了する。

【００７５】

なお、Ｓ９０１において、受信部７０１は、ソース情報とともにユーザ情報を受信し、デコーダ７０２を介してＣＰＵ７０８に通知しておく。

（実施の形態５）

図２１は、本発明に係るリモートコントローラを用いた実施の形態５の視聴集計システムの構成図である。この視聴集計システムは、リモートコントローラ１０１と、情報制御装置６０１と、情報コンテンツ提供側パソコン２１０１とを備え、情報制御装置６０１と情報コンテンツ提供側パソコン２１０１とが通信回線６０４で接続されている。

【００７６】

情報コンテンツ提供側パソコン２１０１は、バナー作成者データベース２１０２と、視聴集計部２１０１は、バナー作成者データベース２１０２と、出力部２１０５とを備えている。

図２２（ａ）は、リモートコントローラ１０１のメモリカード１０２のＢＡＮＮＥＲディレクトリに記録されているバナーファイル「ＢＮＥＲ０００１．ＢＡＮ」の一例を示している。

【００７７】

バナーファイル２２０１のソース情報２２０２には、情報コンテンツを特定するための番組タグ２２０３、番組情報サイズ２２０４、番組ＩＤ２２０５、チャンネル情報２２０６、オプションフラグ２２０９の他に、このバナーファイル２２０１の作成者を示す作成者情報２２１３と視聴集計のためのアドレス情報２２１７とが記録されている。

【００７８】

作成者情報２２１３には、作成者情報であることを示すバナー作者タグ２２１０、バナー作者情報サイズ２２１１と、バナーファイルの作成者を識別するバナー作成者ＩＤ２２１２とが含まれている。

アドレス情報２２１７には、情報コンテンツ製作者タグ２２１４と、アドレスサイズ２２１５と、視聴集計のためのメールの宛先のアドレス２２１６とが含まれている。

【００７９】

タイトル情報２２１８には、実施の形態１と同様、情報コンテンツの内容を示唆するビットマップ情報２２１９が含まれており、このビットマップ情報２２１９をＬＣＤ１０４に表示すると、図２２（ｂ）に示すような画像２２２０となる。

ＬＣＤ１０４に画像２２２０が表示されているときに、視聴者が「決定」ボタン２１０を押下すると、キー入力Ｉ／Ｆ１０７から「決定」信号がＣＰＵ１１３に通知される。

10

20

30

40

50

【0080】

CPU113は、メモ리카ードI/F102を介して、メモ리카ード102のBANNERディレクトリ302に記録されている「BNER0001.BAN」のバナーファイル2201のソース情報2202を読み出し、リモコン用エンコーダ109に通知する。送信部108は、リモコン用エンコーダ109で送信信号に変換されたソース情報2202を情報制御装置601に無線送信する。

【0081】

情報制御装置601では、実施の形態1と同様に、ソース情報に従い、情報コンテンツを取得して、ディスプレイ605に情報コンテンツを表示させる。この際、ソース情報に含まれる作成者情報2213とソース情報中の番組ID2205又はURL317(図3(b)参照)とをモデム704を介して、アドレス情報2217中のアドレス2216宛通信回線604により通信する。

10

【0082】

情報コンテンツ提供側パソコン2101は、集計装置を構成し、アドレス2216で特定される。

バナー作成者データベース2102には、メモ리카ード102のBANNERディレクトリ302に記録されているバナーファイルの作成者が記載されたバナー作成者一覧表を記憶している。

【0083】

図23は、バナー作成者一覧表の一例を示している。バナー作成者一覧表2301には、バナー作者ID欄2302と、バナー作者名欄2303と、バナー作者の連絡先であるメールアドレス欄2304とが設けられている。

20

視聴集計部2103は、RAM等を有し、通信回線604を介して複数の情報制御装置601等から通信されて来る番組ID又はURLとバナーファイルの作成者を識別するバナー作者ID等を通信日時とともに記録する。

【0084】

図24は、視聴集計部2103に記録された視聴集計表の一例を示している。視聴集計表2401には、番組ID又はURL欄2402と、日時欄2403と、バナー作者ID欄2404とが設けられている。番組ID又はURL欄2402に記録された内容により、視聴された情報コンテンツが特定される。日時欄2403に記録された内容により、情報コンテンツが情報制御装置601により、ディスプレイ605に表示された日時がわかる。バナー作者ID欄2404の記録内容によりこの情報コンテンツが視聴されるに当たり、視聴者がどのバナーファイルを参考にして選択したかを知ることができる。

30

【0085】

例えば、番組ID「0×12345678」で識別される情報コンテンツは視聴集計表2401の第1、2、4行目に示すように、バナー作者ID「0×12312312」のバナーファイルを見て視聴され、第3行目に示すようにバナー作者ID「0×78901234」のバナーファイルを見て視聴されている。

計算部2104は、視聴集計部2103に記録された視聴集計表2401を日単位や週単位の所定の期間で情報コンテンツごとに、即ち、同一の番組IDや同一のURLごとに、バナー作者ID欄2404に記録されたバナー作者IDごとの視聴数を計算する。計算部2104は、各バナー作者IDごとの視聴数を全ての視聴数で除し、情報コンテンツの視聴に各バナー作者がどれだけの寄与をしたかの寄与率を計算する。

40

【0086】

次に、計算部2104は、情報コンテンツの提供者から情報コンテンツの視聴に対するバナーファイルの宣伝に与えられている報酬額を予め入力されているので、報酬額に各バナー作者の寄与率を乗じて分配額を決定する。

出力部2105は、計算部2104で決定された分配額をバナー作成者データベース2102に記載されたメールアドレスを用いてバナー作者に通知する。

【0087】

50

次に本実施の形態の情報制御装置 601 での動作を図 25 に示すフローチャートを用いて説明する。実施の形態 1 での動作と同様の動作には同一のステップ番号を付してその説明を省略する。S907 に続いて、CPU708 は、情報コンテンツ製作者の情報コンテンツ提供側パソコン 2101 のアドレス 2216 宛にバナー作者 ID 等を通信回線 604 を介して送信し (S2502)、処理を終了する。

【0088】

このように、メモリカード 102 のバナーファイルのソース情報にバナー作成者情報 2213 を記載しておくことで、どのバナーファイルによって、情報コンテンツが選択されたかを情報コンテンツの提供者側が知ることができ、魅力あるバナーファイルの作成者に適切な報酬を支払うことができる。

なお、上記各実施の形態においては、着脱可能なメモリカード 102 を用いたが、リモートコントローラ 101 と一体化しても良い。

【0089】

また、上記各実施の形態においては、リモートコントローラ 101 での情報管理をファイルシステムにより実現したが、他に、データベースのレコードとして管理するなど種々の方法がある。

なお、上記各実施の形態においては、バナーファイルに特定のデータ構造を示したが、他のデータ構造でもよい。

【0090】

なお、上記各実施の形態においては、情報制御装置 601 には、情報コンテンツの入手手段として大容量記録装置 602 とアンテナ 603 と通信回線 604 とが接続されているが、その一部の手段だけでも構わないし、他の手段により情報コンテンツを入手しても構わない。

なお、上記各実施の形態においては、情報制御装置 601 はモデム 704 を介して通信回線 604 と通信を行っているが、ローカルエリアネットワークに接続する場合は専用の LAN カードを介して通信する必要がある。

【0091】

なお、上記実施の形態 4 においては、ユーザ情報が ID とパスワードの文字列としているが、指紋や顔画像などの生体情報でもよい。

なお、上記各実施の形態においては、バナーファイルの入手方法としてメモリカードの配布や実施の形態 2 で説明したリモートコントローラ間でのコピーなどの方法を示したが、他にも、ホームページで公開したりするなど、種々の方法がある。

【0092】

また、リモートコントローラを携帯電話と一体化すれば、電話回線によるバナーファイルの配布が容易になることは言うまでもない。

【0093】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明に係る情報制御装置は、所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者 ID と、前記所定のコンテンツを識別する識別情報と、前記所定のコンテンツの視聴を集計する集計装置のアドレスと、を外部の通信装置から受信する受信部と、前記識別情報に対応する所定のコンテンツを取得する取得部と、外部の表示装置に前記取得した所定のコンテンツを出力するインターフェース部と、前記外部の表示装置に前記取得した所定のコンテンツを出力した場合、前記取得した所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者 ID を、前記集計装置のアドレスに基づいて、前記集計装置に送信する制御を行う制御部と、を備えたものである。この構成によって、情報制御装置は、前記外部の表示装置に前記取得した所定のコンテンツを出力した場合、前記所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者 ID を、前記集計装置のアドレスに基づいて、前記集計装置に通知できる。

【0101】

更に、本発明に係る集計装置は、定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者IDと前記所定のコンテンツを識別する識別情報とを外部の通信装置から受信し且つ前記識別情報に対応する所定のコンテンツを取得して外部の表示装置に出力する情報制御装置から、前記情報制御装置において前記外部の表示装置に前記所定のコンテンツを出力した場合、前記所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者IDを取得して記憶する集計部と、前記情報制御装置において前記外部の表示装置に前記所定のコンテンツを出力した場合の前記所定のコンテンツを紹介する紹介コンテンツを作成した作成者を識別する作成者IDを、前記所定のコンテンツの視聴に貢献した作成者IDとし、前記作成者の前記所定のコンテンツの視聴への寄与率を計算する計算部と、を備えている。このような構成によって、情報コンテンツの選択に用いられるファイルの作成者に対して、適切な報酬額を決定することができる。

10

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るリモートコントローラの実施の形態1の構成図である。

【図2】上記実施の形態のリモートコントローラの外観図である。

【図3】(a)は、上記実施の形態のメモリカード102に記憶されているバナーファイルの構成を示す図である。

(b)は、上記実施の形態の携帯のバナーファイルのデータ構成の一例を示す図である。

(c)は、上記実施の形態のタイトル情報に含まるビットマップ情報の画像の一例を示す図である。

【図4】上記実施の形態の動作を説明するフローチャートである。

20

【図5】上記実施の形態のバナーファイルの消去の動作を説明するフローチャートである。

【図6】上記実施の形態で説明したリモートコントローラを用いて情報制御装置の操作状態を説明する模式図である。

【図7】上記実施の形態の図6に示した情報制御装置の構成図である。

【図8】(a)は、上記実施の形態の大容量記録装置に記録されているファイル構成を示す図である。

(b)は、上記実施の形態のINET、IDXの内容の一例を示す図である。

(c)は、上記実施の形態のBROAD、IDXの内容の一例を示す図である。

【図9】上記実施の形態の情報制御装置の動作を説明するフローチャートである。

30

【図10】本発明に係るリモートコントローラのメモリカードの内容を更新する実施の形態2を模式的に示す図である。

【図11】(a)は、上記実施の形態のメモリカードの更新前のバナーファイルを示す図である。

(b)は、上記実施の形態の更新後のメモリカードのバナーファイルを示す図である。

【図12】上記実施の形態の動作を説明するフローチャートである。

【図13】本発明に係るリモートコントローラの実施の形態3のバナーファイルのヘッダ情報のマーク設定日時が書き込まれた状態を示す図である。

【図14】上記実施の形態のLCDに表示されたタイトル情報の画像に付加されたマークを示す図である。

40

【図15】上記実施の形態のバナーファイルのマーク設定の動作を説明するフローチャートである。

【図16】上記実施の形態のソース情報の送信の動作を説明するフローチャートである。

【図17】本発明に係るリモートコントローラの実施の形態4におけるユーザ情報の登録のためにキーボードを接続した状態を示す図である。

【図18】上記実施の形態のバナーファイルに登録されたユーザ情報を示す図である。

【図19】上記実施の形態のユーザ情報の登録の動作を説明するフローチャートである。

【図20】上記実施の形態の情報制御装置での動作を説明するフローチャートである。

【図21】本発明に係るリモートコントローラを用いた実施の形態5の視聴集計システムの構成図である。

50

【図 2 2】 (a) は、上記実施の形態のリモートコントローラのメモリカードに登録されたバナーファイルのデータ構造を示す図である。(b) は、上記実施の形態のビットマップ情報の画像の一例を示す図である。

【図 2 3】 上記実施の形態の情報コンテンツ提供側パソコンのバナー作成者データベースに記憶されているバナー作成者一覧表を示す図である。

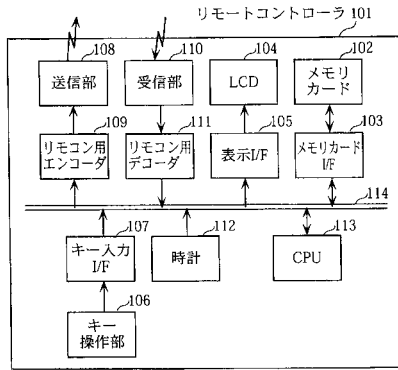
【図 2 4】 上記実施の形態の情報コンテンツ提供側パソコンの視聴集計部に記憶されている視聴集計表を示す図である。

【図 2 5】 上記実施の形態の情報制御装置の動作を説明するフローチャートである。

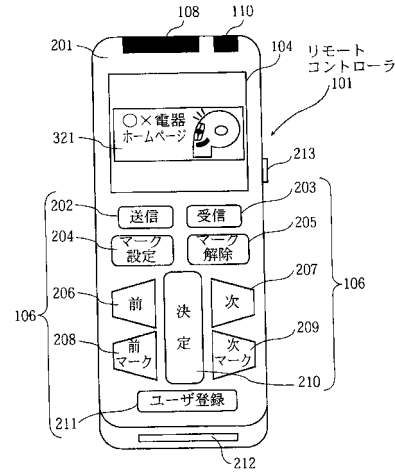
【符号の説明】

1 0 1、1 0 0 1	リモートコントローラ	10
1 0 2	メモリカード	
1 0 3	メモリカード I / F	
1 0 4	L C D	
1 0 5	表示 I / F	
1 0 6	キー操作部	
1 0 7	キー入力 I / F	
1 0 8	送信部	
1 0 9	リモコン用エンコーダ	
1 1 0	受信部	
1 1 1	リモコン用デコーダ	20
1 1 2	時計	
1 1 3	C P U	
1 1 4	バス	
2 1 2	メモリカードスロット	
2 1 3	電源ボタン	
6 0 1	情報制御装置	
6 0 2	大容量記録装置	
6 0 3	アンテナ	
6 0 4	通信回線	
6 0 5	ディスプレイ	30
7 0 1	受信部	
7 0 2	デコーダ	
7 0 3	チューナ	
7 0 4	モデム	
7 0 5	時計	
7 0 6	記録装置 I / F	
7 0 7	表示 I / F	
7 0 8	C P U	
2 1 0 1	情報コンテンツ提供側パソコン	
2 1 0 2	バナー作成者データベース	40
2 1 0 3	視聴集計部	
2 1 0 4	計算部	
2 1 0 5	出力部	

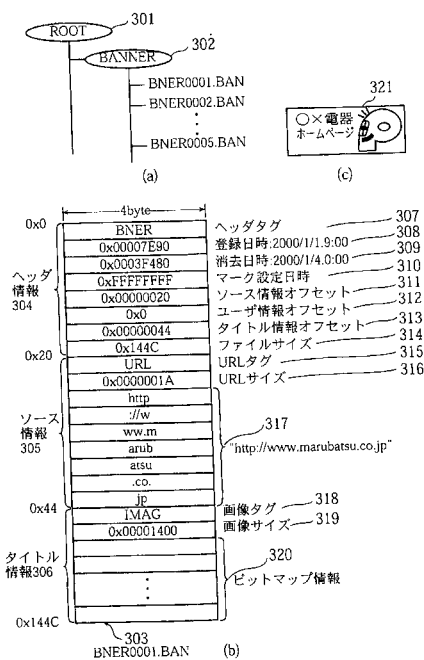
【図 1】



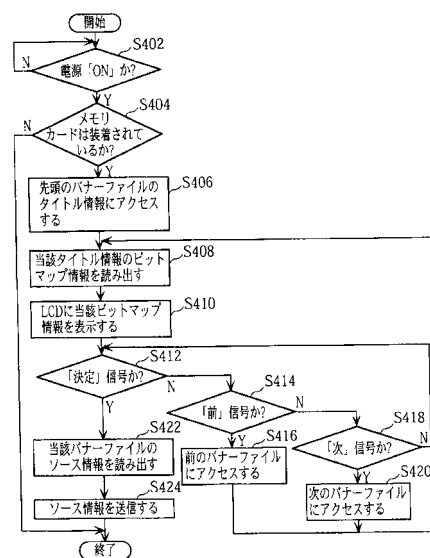
【図 2】



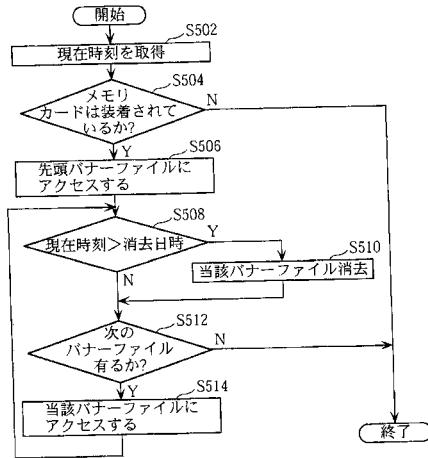
【図 3】



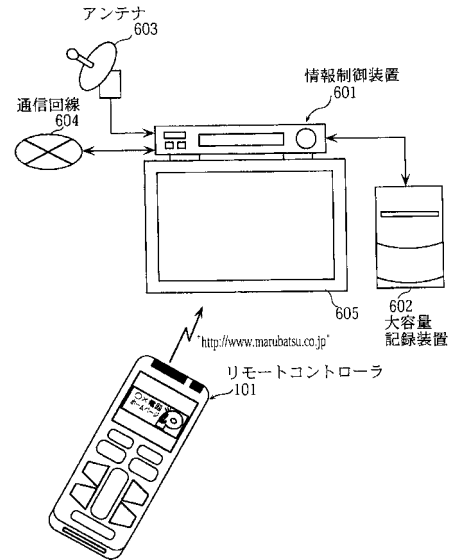
【図 4】



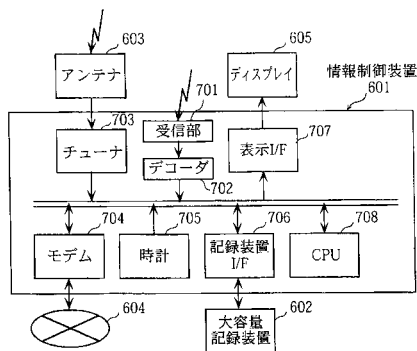
【図 5】



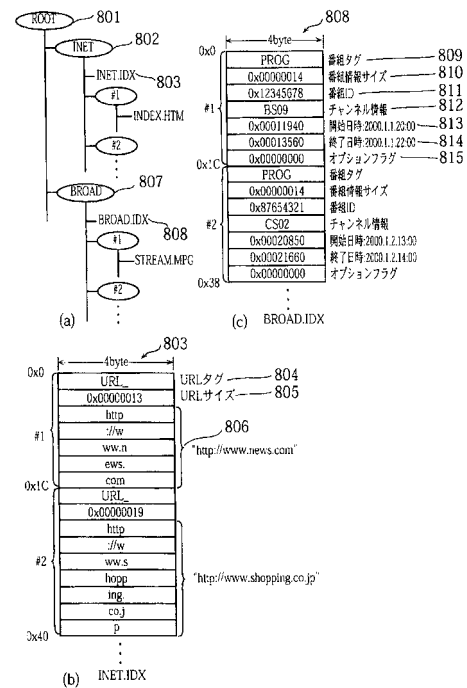
【図 6】



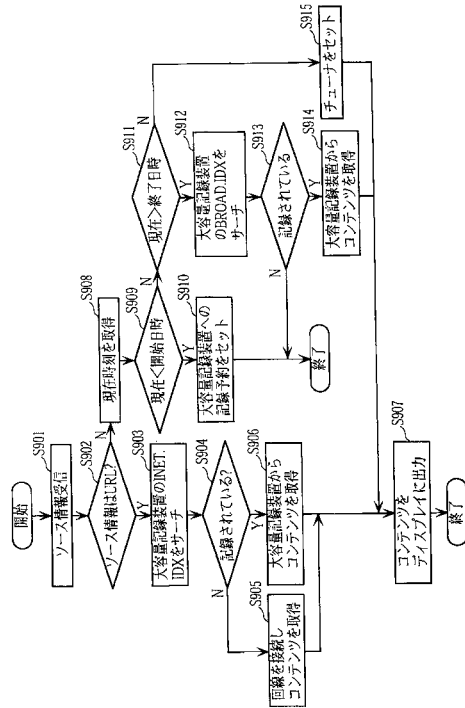
【図 7】



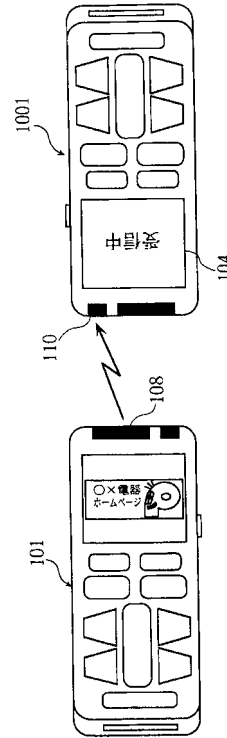
【図 8】



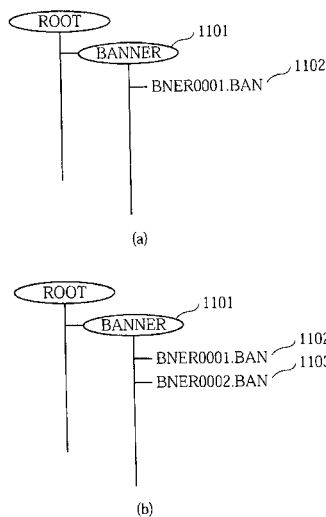
【図 9】



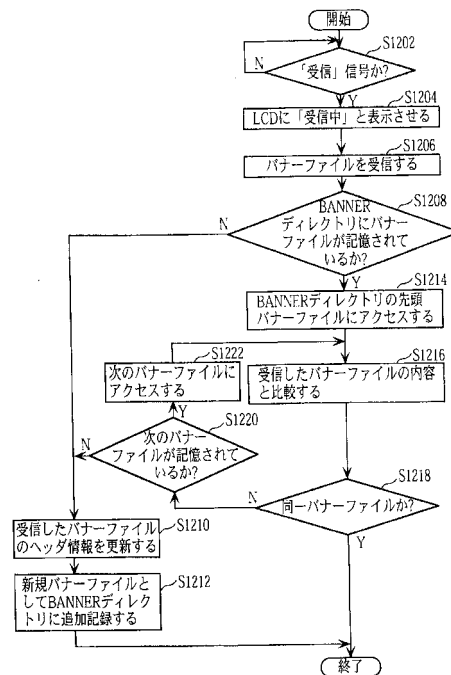
【図 10】



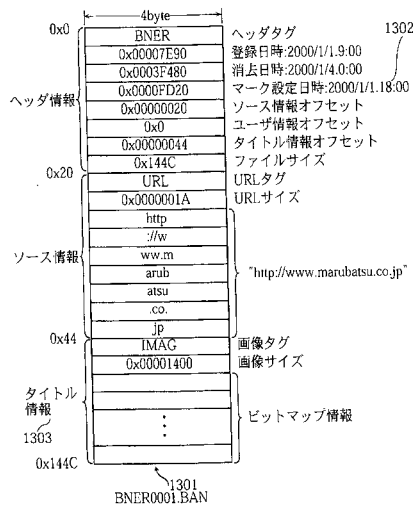
【図 11】



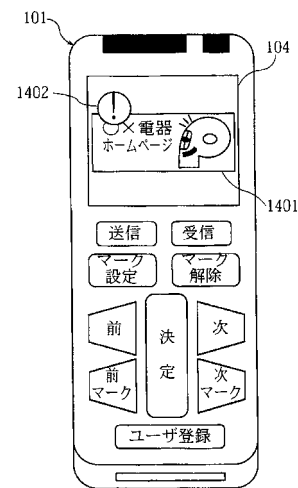
【図 12】



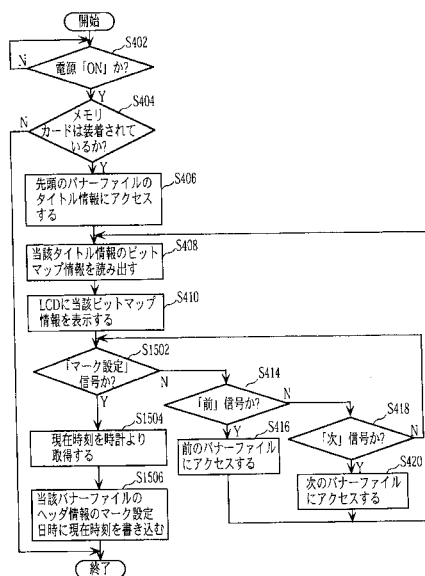
【図 13】



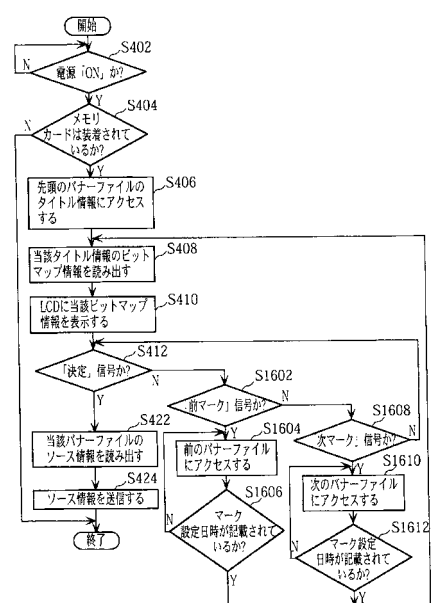
【図 14】



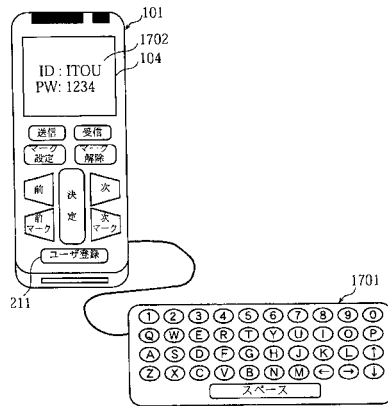
【図 15】



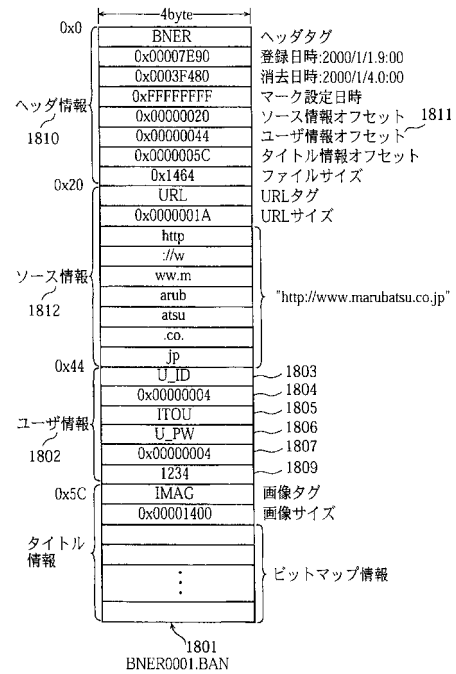
【図 16】



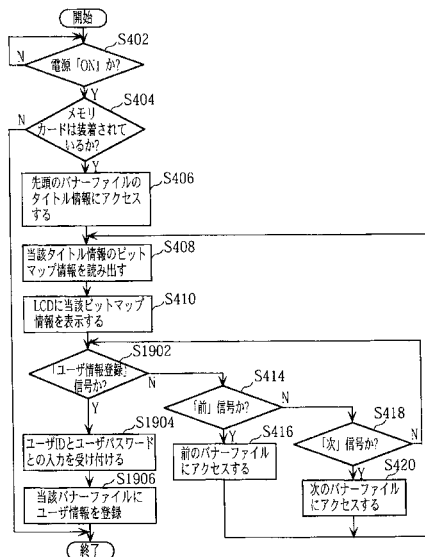
【図 17】



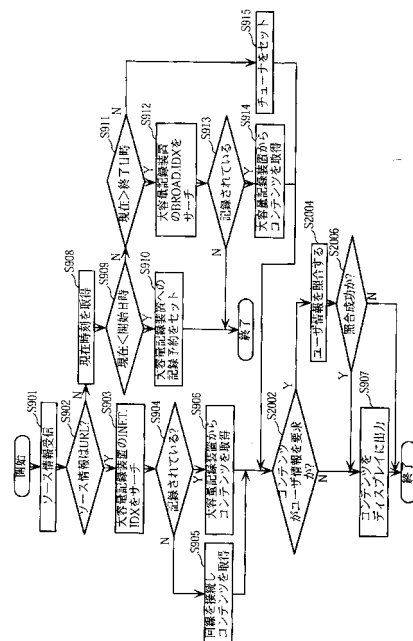
【図 18】



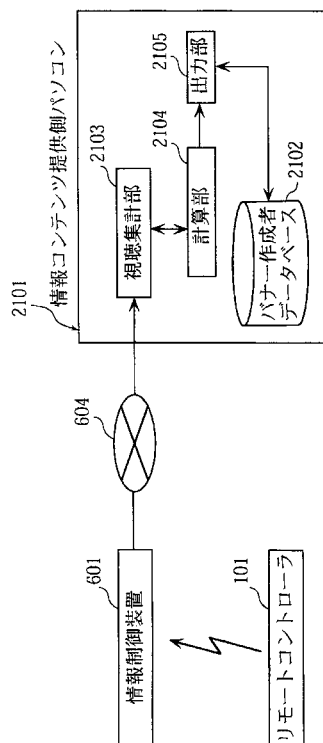
【図 19】



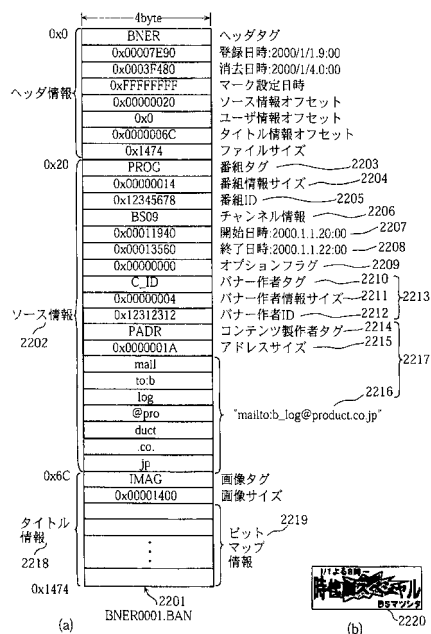
【図 20】



【 ㊦ 2 1 】



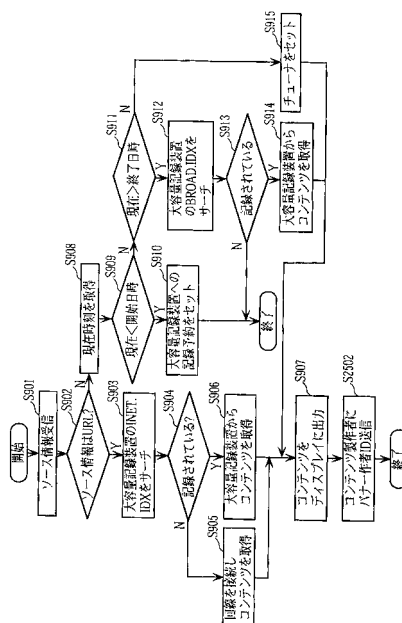
【 ㄨ 2 2 】



【 図 2 3 】

パナー作者ID	パナー作者名	メールアドレス
0x12312312	××××	abc@ab.ne.jp
0x78901234	○○○○	xyz@ab.gr.jp
⋮	⋮	⋮

【 図 2 5 】



【 ㄨ 2 4 】

番組ID又はURL ²⁴⁰²	日時 ²⁴⁰³	パナソニック作者ID ²⁴⁰¹	2404
0x12345678	2000.1.1.20:00	0x12312312	...
0x12345678	2000.1.1.20:00	0x12312312	...
0x12345678	2000.1.1.20:00	0x78901234	...
0x12345678	2000.1.1.20:01	0x12312312	...
⋮	⋮	⋮	⋮

フロントページの続き

(72)発明者 中尾 一郎
大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

審査官 矢島 伸一

(56)参考文献 特開 2 0 0 2 - 0 9 2 4 8 1 (J P , A)
特開 2 0 0 2 - 1 0 9 2 6 2 (J P , A)
特開 2 0 0 1 - 3 0 6 9 4 7 (J P , A)
特開 2 0 0 0 - 0 2 9 9 3 1 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

H03J 9/00 - 9/06
H04Q 9/00 - 9/16
H04N 5/00
H04N 5/44